

事務事業名	ハーモニーフォーラム開催事業		所属部局	市民部	単位番号	4006																												
			所属課室	みんなでまちづくり推進課	課長名	次長 野澤 淨																												
			所属担当	男女共同参画担当	担当者名	小池 宏																												
基本政策	基本計画体系	情報と連携の都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目																								
政策		男女共同参画社会づくりの推進		01	一般	0	2	0	1	0	8	0	2	0	0	6																		
施策		男女共同参画社会づくりの推進	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金																														
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H17 年度) ~ (年度) 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		法令根拠	男女共同参画推進条例、南アルプス市ハーモニープラン																														
事業の内容・概要	事業の内容…期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 性別にかかわらず、誰もが互いにその人権を尊重し、喜びも責任も分かち合い、自らの意志を持ち、一人ひとりの能力を十分に発揮できる男女共同参画社会実現に向けての気運をさらに広く醸成することをねらい、年に1回フォーラムを開催する。 内容: オープニング、式典、推進状況報告、講演等 業務内容: 内容素案作成、実行委員会助言等		事業費の主な内訳 (22年度) <table border="1"> <tr> <th>項目(細節)</th> <th>金額(千円)</th> <th>項目(細節)</th> <th>金額(千円)</th> </tr> <tr> <td>講師謝礼</td> <td>108</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>賞賜金</td> <td>60</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>消耗品</td> <td>36</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>食糧費</td> <td>31</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>計</td> <td>235</td> </tr> </table>								項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)	講師謝礼	108			賞賜金	60			消耗品	36			食糧費	31					計	235
項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)																															
講師謝礼	108																																	
賞賜金	60																																	
消耗品	36																																	
食糧費	31																																	
		計	235																															

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

活動	フォーラムの開催(年1回)
22年度活動実績	フォーラムの開催(年1回)
23年度活動予定	フォーラムの開催(年1回)
対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市民
意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	多くの市民にフォーラムに参加してもらい、男女共同参画社会について、必要性を理解してもらう。
上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	性別にかかわらず、個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現を目指す。

活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア: フォーラムの参加者数	人
イ:	
ウ:	
対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア: 人口	人
イ:	
ウ:	
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア: 男女共同参画社会実現に向けた活動の機会	%
イ: について満足している住民の割合(満足度調査)	
ウ:	
上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア: ハーモニープラン数値目標の達成件数	件
イ:	

(2) 事業費・指標の推移

年間	事業費	財源内訳	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(予算・目標)	(次年度計画・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)		
タ	ル	国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	272	235	275	292	292	292		
		事業費計(A)	千円	272	235	275	292	292	292	0	
	コ	ス	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	
			延べ業務時間	時間	200	200	200	200	200	200	
			人件費計(B)	千円	892	892	792	792	792	792	0
			(A)+(B)	千円	1,164	1,127	1,067	1,084	1,084	1,084	0
	活動指標	人	300.0	200.0	300.0	300.0	300.0	300.0			
	対象指標	人	72,869.0	73,014.0	73,014.0	73,014.0	73,014.0	73,014.0			
	成果指標	%	24.0								
	上位成果指標	件	30.0	30.0	40.0						

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成17年3月「南アルプスハーモニープラン」が策定され、このプランをもとに、性別に関わりなく、自分らしく伸びやかに暮らせる南アルプス市を目指すため、開催された。
事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	事業開始時期に比べ理解は得られてきている。
事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	講演については、毎年興味ある内容をテーマにしたい。

(4) 改革改善の取り組み状況

改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている [内容] <input type="checkbox"/> 取り組みしていない [理由]
これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	式典内容は固定されているが、講演は時々のニーズに合わせ、テーマを選んでいる。
H 22年度に実施した改革改善の内容	身近な方からの意見ということで、市内の企業、地域、子育て、市議でシンポジウムを開催した。

事務事業名	ハーモニーフォーラム開催事業	所属部	市民部	所属課	みんなでまちづくり推進課
-------	----------------	-----	-----	-----	--------------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) 【理由】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 【理由】 少しづつではあるが、推進されている。
	公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 【理由】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 妥当である 【理由】 具体的に他の分野に参画させていくことは、民間団体に委ねることも可能。市は、参画できる場所、場面をつくる。
	維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある 【理由】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である 【理由】 全市民に男女共同参画を理解してもらうため、適切である。
有効性 評価	成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 【理由】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない 【理由】 更に多くの市民が参加し、理解してもらうことで男女共同参画社会の推進につながる。
	類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある (類似する事務事業の名称を記入) <input checked="" type="checkbox"/> 統合・連携ができる 【理由と具体案】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない 【理由】 <input type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり 【理由と影響の内容】 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない 【理由】 男女共同参画を推進していくためには、市民に理解してもらうための活動や機会が必要となるので、廃止となれば影響がある。男女共同参画をすいしんしていくため、当面はこのようなフォーラムの開催を通して市民の理解を広めていくことが有効である。
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 【理由・具体案】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない 【理由】 講演会講師料を下げることで削減する余地はある。
	人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある 【理由・具体案】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 【理由】 担当だけで業務時間内に遂行しているため。
公平性 評価	受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある 【理由・具体案】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である 【理由】 男女共同参画の観点から、公平、公正である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	行政主体で開催するのではなく、企画、運営を市民が自主的に行なうことで、協働事業との連携ができる。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性 、 、 の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性 の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性 の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性 、 、 の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性 の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input checked="" type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性 、 、 の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性 、 の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		低下	<input type="checkbox"/>		
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																			
	低下	<input type="checkbox"/>																				
(2) 改革改善案について 企画、運営は実行委員会を発定し、自主的に開催していく。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 自主運営と言いながらも、行政の関与が大きい。市民の意識改革。	(5) 事務事業優先度評価結果																					
	成果優先度評価結果																					
	コスト削減優先度評価結果																					